

「北杜市障害福祉計画（第6期計画）・北杜市障害児福祉計画（第2期計画）」
第1回策定委員会 会議録

(1) 会議名 「北杜市障害福祉計画（第6期計画）・北杜市障害児福祉計画（第2期計画）」第1回策定委員会

(2) 開催日時 令和2年8月29日（金）14時00分～

(3) 開催場所 北杜市役所本庁 西会議室

(4) 出席者（敬称略）

出席委員

興石義彦、小松二三子、大柴政敏、中沢朝征、津田健夫、飯室正明、
小池達也、磯野圭一、河野めり子、岡田宗一郎

欠席委員

秋山謙太、坂本誠

事務局

伴野福祉部長、山田福祉課長、障害福祉担当 三井、篠原
障害者総合支援センター 佐野、白倉介護支援課長、浅川健康増進課長
中澤子育て応援課長、中田ほくとっこ元気課長、堀内教育総務課長
SCOP 鷺見、栗田

会議録署名委員

飯室正明、磯野圭一

(5) 議題

- ① 障害（児）福祉計画の概要説明について
- ② 現行計画の評価について
- ③ アンケート調査について
- ④ 策定スケジュールについて
- ⑤ その他

(6) 公開・非公開の別

公開

(7) 傍聴人の数

0名

(8) 内容

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 副市長あいさつ
- 4 自己紹介

5 会長、副会長選出

6 議事

① 障害（児）福祉計画の概要説明（事務局より資料2の説明）

■ 質疑応答・意見

なし

② 現行計画の評価について（事務局より資料3の説明）

■ 質疑応答・意見

委員：今ご説明のあった目標4「福祉施設から一般就労への移行等」（資料3）という項目で、私が担当している仕事に関連して思った意見ですが、そもそも就労支援事業所の利用者が減っているという現状があり、就労事業所自体が閉鎖してきています。県内はじめ全国的にこのような傾向があります。事業所が閉じているために利用者が少ないという結果にもつながっている。

就労定着支援については、就労移行事業所からの流れがあるため、必然的に就労支援事業所が少ないと新規需要があったとしても利用が難しく、根本的な課題となっています。支援学校と地域の事業所が意見交換する場を協議会で持つなどの活動をしながら、卒業生が就労移行事業所を使わなくなった理由を把握してはどうでしょうか。

また、一般就労で動いている方は増えていると実感しています。

会長：事務局よろしいでしょうか。

事務局：ご意見ありがとうございます。

委員：計画相談の状況の部分で説明のあったとおり、計画相談支援がかなり不足しています。確認ですが、別紙②の報告で令和元年度が106、令和2年度が86で減少しているような見込みとなっている。減少の理由がわかれば教えてください。

事務局：利用数が減っていることの推測ですが、放課後等デイサービスと児童発達支援の受け入れ数が定員を減らしているというなかで、一番大きいのは1事業所の定員数15を10に途中から減らしたり、精神の事業所では人材確保が難しいこともあり、サービス提供体制の改編を行っている状況にあります。

こういった前提があるなかで利用が難しかった方や、あるいはB型事業所に関しては先日のトリプル改訂の際に利用者さんが週3日程度利用しないと加算できないような厳しさがあり、あまり定期で通えない方については、コロナのタイミングで利用を控えるような傾向があるなど、いろいろな制約があったと感じています。

複数事業所を使っていた方がコロナになった時点で利用しなくなったというケースもあります。計画自体を閉じてしまうという方はいなかったが、今後はそういった傾向もみられるかと思います。

また、実際に計画を控えて日中一時に変更した方が最近多くみられます。プランを立てずにサービスを利用している方は複数名いらっしゃるように思います。裏付けはとってはいませんが、そういったことの影響もあるのではないかと考えています。

委員：ありがとうございます。コロナ禍で事業所自体が厳しい状況になっているということですね。

もう1点ですが、短期入所（医療型）で目標値3、利用実績0の状態が続いていますが、そもそもニーズがないという認識か、それとも何か利用控えなどがあるのか、どういう状況か教えてください。

事務局：確実ではありませんが、利用されているお母さんたちが出産時などで使われていた経過があり、数は少ないもののコンスタントに使っていたという記憶があります。今年度に関しては、そういった家庭内のイベントがなかったことと、コロナの関係で利用の見合わせもあったため、利用数は減っています。ここ最近また再開したので、定期的な利用者は戻ってきているかと思えます。今年度末になると数字は変わってくると思います。

委員：医療型についてお伺いしたい。

事務局：医療型は出産で使われていたので、コンスタントに使われている状況ではありません。

委員：目標値が3で実績が0なのでどういうことかと。

事務局：出産などでの利用のため、定期的にニーズがあるものではありません。

委員：ありがとうございます。なぜこの質問をしたかという、県内でもそうだが、医療的支援の必要なお子さんが増えている状況のなかで、なかなか短期入所が使えない現実があるからです。県の自立支援協議会においてもこのあたりが課題になっています。今後そのようなニーズがそもそもあるのかどうか、資料で見ると実績が0なのでニーズがないということなのか、ニーズがあるが利用できないのか、というところを見極めて、計画に反映してもらいたいです。

③ アンケート調査について（事務局より資料4-1、資料4-2、資料5の説明）

■ 質疑応答・意見

委員：資料4-2にあるヘルプマークについて。小学校（泉小学校）のパトロールをしているが黄色い帽子をかぶった1~2年生が似たようなものをランドセルにつけていて、ヘルプマークだと勘違いしまった。違う色でつくことはできないでしょうか。

事務局：ヘルプマークは東京都が作成し、全国共通で使用しているもので、市独自に色は変えられるものではないようです。小学生がつけていたものをこちらでは把握できませんが、残念ながらわたたくしどもではこの様式を変えられません。

会 長：要望ということによろしいでしょうか。

委 員：意見です。

④ 策定スケジュールについて（事務局より資料6の説明）

■質疑応答・意見

なし

⑤ その他

委 員：ご説明のとおり今年度末までに計画を作っていくと思いますが、委嘱状は令和4年3月31日まででもう1年あります。策定にかかる委員ということで委嘱されているかと思いますが、あと1年はどのような役割があるのか教えてほしい。

事務局：これまで北杜市ではPDCAといった計画策定後の検証をしておこなったということもあり、来年度からは計画の評価等を行っていくための施策推進協議会（名称未定）のような計画を検証する委員会を設置したいと考えています。そちらの委員ということで委嘱させていただいています。

委 員：とすると、本来は1年後の委嘱で、新しい委員会が立ち上がる時に、新たに委嘱されるということでしょうか。

事務局：また新たに施策推進協議会（名称未定）の委員として委嘱させていただきたい。

委 員：本来は、委嘱は令和3年3月31日という理解でよいか。

事務局：これまでも任期は2年スパンで委嘱しており、要綱でそう定められているため、今期も2年としています。本来であれば評価とは別に計画の進捗・実績を、計画を策定した委員に報告をする場があってもよいのではないかと考えています。現計画の策定委員には進捗管理を行っていくことになっているので、来年度については本年度（令和2年度）の実績等の報告をさせていただこうと考えています。

さきほど申しあげた評価のための組織ですが、別建てにするか、策定委員に兼ねていただくかについて、事務局で検討している状況です。

会 長：策定は1年で終わっても2年目は委員の皆さんと経過確認をしていくということによいでしょうか。そのため委嘱状は2年になっているということですね。

委 員：よくわかりました。

7 閉会

以上